

8月22日・23日開催の学校説明会でのQ & A

項目	質問内容	回答
1	給食 給食のアレルギー対応はしてもらえますか。	他校と同様に対応いたします。
2	通学 通学方法として、近隣の児童生徒同士で乗合タクシーなどを手配し通学しても良いですか。	今後検討いたします。
3	学習 個別の児童生徒への学習支援体制について教えてほしい。	国・県からの支援も得るなど、できる限り細やかに、支援してまいります。
4	学習 児童生徒の主体性をどのように育てていきますか。	学校全体で主体性を育てるような全学年共通の「授業のスタンダード」を作成し、授業改善に取り組んでいきます。主体性は授業だけでなく異学年交流といった様々な場面で育むものと考えていますが、コロナウイルスの影響から現時点ではあまり取組めていません。 さらに、5から7年生には1人1台のタブレットPCを先行して配付し、ICTの効果的な活用により、児童生徒が主体的に調べ学習や課題に取り組むことや、個別最適化された学習を進めることで、主体性の育成を図ってまいります。
5	児童生徒 特認校制度で就学を始めた児童生徒はどのような様子ですか。	今年度は4、5月に休校となり孤独感を感じていた児童生徒もいたようですが、6月から学校が再開し、友達との交流が進むにつれていきいきと生活している様子です。
6	児童生徒 第II期である5から7年生に最も大きな変化があると思いますが、今の5から7年生はどのように受け止めていますか。	7年生への移行をスムーズに行うことが義務教育学校の大きな目標の1つです。5、6年生は児童生徒会活動にも参加し、7、8、9年生の様子をよく見ており、向上心を持って行動できています。 5、6年生も50分授業を受けていますが、子供たちはよく頑張っていると思います。 多様な教師の目で子供たちを支援することができているのもよいことだと思います。
7	通学 特認校制度の児童生徒はどのように通学していますか。	ほとんどの児童生徒が電車とバスで通学しています。1年生の2名は自家用車で送迎です。

8	児童生徒	もし就学してから学校になじめなかったり、いじめなどが発生したら、どのように対処していく予定ですか。クラス数が少ないと人間関係が固定されないか心配です。	義務教育学校の設立目的の1つは単学級の回避です。単学級となれば長年にわたってクラス替えができず、環境が変わらないという不安はあるのかもしれませんが、義務教育学校では1年生から9年生まで1つの児童生徒指導の体制があり、いじめ等の問題に対して学年のみならず学校として細やかに対処しています。今のところ問題が長引くということはありません。今後も丁寧な対応を行うよう心がけてまいります。
9	学習	第III期として8、9年生で区切っていること の理由は何ですか。また、第III期での指導はどのようなものですか。	第III期では生徒の興味関心に応じた指導を充実させ、個性と能力を十分に伸ばす指導を行っています。9年生が自らの進路について集中する時期には、8年生にも学校のリーダーとしての役割を果たしてもらうことを期待しています。
10	児童生徒	7年生から就学することで、何かデメリットはありますか。	今の7年生の様子を見ていても、デメリットと感じることはありません。
11	部活動	部活動では朝練はありますか。	行っている部もあります。時間は7時半ごろからです。また活動は常時ではなく、行っている時期と行っていない時期もあります。
12	募集	学校見学をする機会がありますか。	11月の上旬に1週間、オープンスクールを実施する予定です。地域の方だけでなく、特認校制度で就学を検討している方も参加可能なので是非学校の様子をご覧ください。
13	募集	兄弟姉妹での就学の優先はありますか。	兄弟姉妹を優先して就学を許可するということはありません。兄弟姉妹そろって就学、あるいはどちらか一人での就学については応募段階で確認いたします。
14	募集	就学に向けて質問したい場合はどこに相談すればよいですか。	学校の取組や教育内容に関しては直接学校に問い合わせてください。事務手続きなどについては教育委員会学校改革課へ問い合わせてください。
15	通学	迎えに遅れてしまう場合などのために、子供へ携帯電話を持たせたいが可能ですか。	ご相談させていただき、個別での対応となります。
16	PTA	PTAへの参加は絶対ですか。	参加は任意となりますが、子供たちの活動を共に支えていくという思いを持ち、皆で同じ方向に取り組みたいと考えています。
17	募集	昨年の募集では抽選はありましたか。	昨年の抽選はありませんでした。
18	募集	希望している子供は発達障害があり、現在通級指導を受けています。特別支援学級でも受け入れはありますか。	特別支援学級においては、障害種別に応じてクラスが設置されており、在籍児童生徒数に応じて判断します。したがって、現在の児童生徒の人数により募集がない場合もあり得ます。募集人数の情報は今後ホームページ等でお知らせしてまいります。

19	部活動	子供がバドミントンをしています。バドミントン部に男子はありますか。また今後、新たに設置される可能性はありますか。	創部はその部活が数年にわたって維持できるか、また団体戦に出られるかが判断材料になります。そうしたことを考慮すると、すぐに創部というのは難しいと思います。ただし、競技によっては大会に個別参加することは可能であり、例えば水泳部などは、教師が引率するなどの対応をしています。
20	募集	全学年で募集はありますか。また、いつ頃わかりますか。	現時点では全学年での募集を予定していますが、今後の児童生徒の転出入や進学状況を踏まえて判断することになります。場合によっては、募集を行わない学年も出るかもしれません。これは特別支援学級も同様です。10月の就学説明会までには、市政ニュースやホームページで確定した情報をお知らせします。
21	部活動	部活動への参加は絶対ですか。	任意です。絶対ではありません。
22	通学	魅力的な学校であるので、通学手段を確保すれば、もっと人に来てもらえるのではないですか。	スクールバスも検討はしましたが、下校時刻は学年によって異なるため対応が難しく、費用面などの事もあり現時点では実施困難な状況と考えています。今後の就学人数・希望者数を見ながら課題を整理し、検討してまいります。なお、西校舎校庭の一部に送迎用駐車場の整備を予定しており、今年度中に完成予定です。
23	学習	高校への進学を目指し、学力を付ける取り組みとしてはどのようなものがありますか。	9年間の一貫した取組を考えると、学習内容の系統性を踏まえて指導することができ、より効率的な授業が行えると考えています。また、ICTを生かして個別最適化された学習を実現することで基礎基本の確実な習得を目指すと共に、主体性を持って学習に取り組めるようにします。 キャリア教育も9年間の中で行いますので、進路についても今後成果が出てくるものと期待しています。
24	学習	高校への進学実績はどのようになっていますか。	西宮市には9つの公立高校がありますが、昨年はそのうち8校に進学しています。実績は公表しているわけではありませんが、他市の公立高校や高等専門学校、私立高校への進学など選択の幅も広がってきています。